

## 目次

### 駅前広場の将来計画について

- Q1 上板橋駅南口は将来どのような駅前になるのか … 01
- Q2 駅前広場の計画に区民はどのように関わってきたのか … 02
- Q3 バスやタクシーなどの公共交通の乗入れの計画はあるのか … 02
- Q4 駅前に自転車やバイク用の駐輪場は整備されるのか … 03
- Q5 駅前にエスカレーターは設置しないのか … 04
- Q6 歩行者デッキの東側階段に屋根はつけないのか … 05
- Q7 商店街から駅まで遠回りになったが、いつまでこの状態が続くのか … 06
- Q8 広場の暑さ対策はどのように考えているか … 07
- Q9 まちの顔となる駅前空間を将来的にきれいに保てるのか … 08

## 駅前広場の将来計画について

### Q1 上板橋駅南口は将来どのような駅前になるのか

上板橋駅南口では、令和10年度以降の完成をめざして、駅前広場の整備を進めていきます。  
これまで南口になかった車両用のロータリー(交通空間)ができることで、川越街道方面へのアクセスや防災性の向上につながります。

ただし、車道空間は必要最小限の大きさとするこで、歩行者のための空間を広く確保し、安全で居心地の良い「人中心」の空間を整備していきます。  
緑化率が3割を超える整備を計画しており、駅に着くと緑とまちが迎えてくれる、あたたかい広場づくりをめざします。  
広場内にはベンチを設置し、商店街で買い物をした後などに一息つける空間となります。  
また、線路沿いなどには植栽を設け、四季折々の自然と触れ合える場所は、子どもたちが自然や環境の循環を学ぶ場にもなります。



駅前広場のイメージパース



駅前広場の将来イメージ

(左:下りホームからの視点、右:線路沿いの視点)

## 駅前広場の将来計画について

### Q2 駅前広場の計画に区民はどのように関わってきたのか

駅前広場の計画にあたっては、「かみいた南未来会議」や公共施設説明会などを通じて、地域の皆さまからご意見をいただきながら、歩行者を中心とした安全で居心地の良い駅前空間の実現に向けて、検討を進めてきました。

計画段階では、令和2年から令和3年にかけて「かみいた南未来会議」という区民ワークショップを開催し、駅前広場の検討を進めてきました。地域の方々の大切にしたい風景や思いを抽出し、皆様の意見の重なりをもとにして、空間のレイアウトを計画しました。

令和4年から令和5年にかけては、ワークショップの延長として、有志により、地域の方々とまちを楽しむ活動をしたり、駅前に置くプランターの花植えを通じ、将来の駅前広場を楽しんでもらうきっかけづくりを実施しました。

また、駅前広場の計画については、区が主催する公共施設説明会でご説明してきました。

詳細は、こちらのリンクからご覧ください。 <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/1059698/1059711/1059713.html>



令和2・3年のワークショップの様子

### Q3 バスやタクシーなどの公共交通の乗入れの計画はあるのか

車両用のロータリー(交通広場)内には、

- ・タクシー乗り場
- ・タクシープール(中央島の部分)
- ・バス停留所
- ・一般車用駐車場(身体障がい者用含む)

のスペースを確保できるよう、計画しています。

具体的なバス路線やタクシーの乗入れに向けては、今後、各事業者と協議を進めていきます。

## 駅前広場の将来計画について

### Q4 駅前に自転車やバイク用の駐輪場は整備されるのか

駅前広場の地下には、自転車や原付などが約1500台駐車できる駐輪場を新たに整備します。  
完成は、令和10年度頃を予定しています。

地下駐輪場への入口となるスロープは、下図のとおり、商店街側と新設道路側の2か所に設置し、出入りすることができます。  
また、駅改札口付近に新たに設置するエレベーターでも、改札階から地下の駐輪場まで行くことができます。



駅前広場の平面イメージ



地下駐輪場の整備イメージ

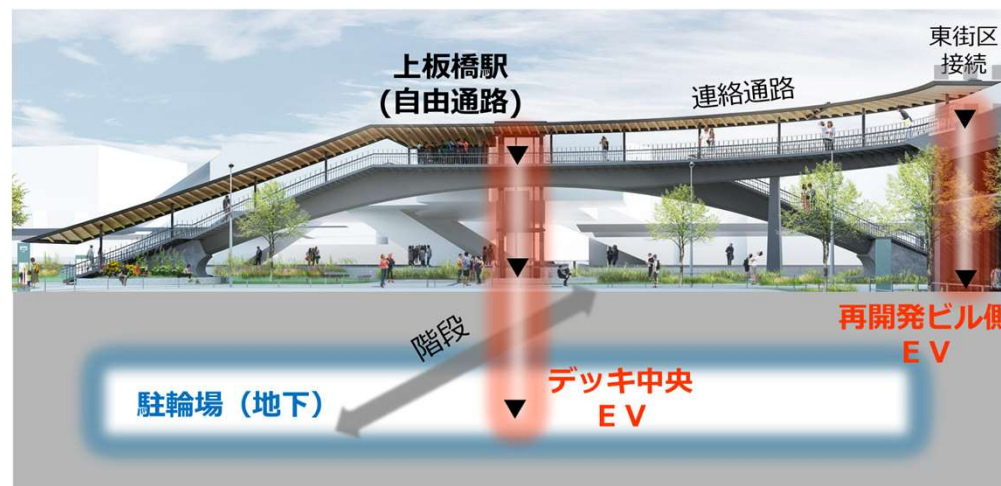
## 駅前広場の将来計画について

### Q5 駅前にエスカレーターは設置しないのか

鉄道は、高齢者・障がい者・ベビーカー利用の方など、あらゆる方が利用される公共交通です。  
そのため、駅まで誰もが円滑にアクセスできる経路を適切に確保できるよう、福祉のまちづくり条例に基づき計画しています。

上板橋駅の改札は、地上から約7メートルの高さにありますが、条例に基づき、車いす・ベビーカーなど誰もが利用できるエレベーターを優先的に設置するため、エスカレーターを設置する計画はございません。  
なお、現在は11人乗りエレベーターが1基のみ設置されていますが、将来的には、20人乗り程度のエレベーターが2基(デッキ中央・再開発ビル設置)となり、大型化・増設により利便性の向上を図ります。

また階段は、商店街側(西側)、再開発ビル側(東側)の2方向に設置されます。  
広場東側の再開発ビル(東街区)への連絡通路も整備され、駅南口改札フロアから再開発ビル(東街区)の3階までをフラットに結びます。



エレベーター位置イメージ

## 駅前広場の将来計画について

### Q6 歩行者デッキの東側階段に屋根はつけないのか

一般的に、歩行者デッキや歩道橋は、法令上、屋根の設置が義務付けられているものではありません。

そこで本計画では、一律に設置・不設置を判断するのではなく、利用者の利便性やバリアフリーへの配慮、周辺施設との関係、駅前空間全体のあり方などを総合的に検討し、必要性の高い箇所に優先して屋根を配置する考え方を採用しています。

具体的には、高齢者や障がい者、ベビーカー利用者など、誰もが安心して利用できる移動環境を確保することを重視し、改札階からエレベーターまでの主要なバリアフリー動線には屋根を設置します。

これにより、雨天時においても円滑に移動できる環境を確保します。

西側階段については、上板南口銀座商店街と駅を結ぶ主要な歩行者動線であり、多くの利用が見込まれることに加え、従前から屋内階段が設置されていた経緯があります。そのため、既存機能の継承と歩行者の利便性向上の観点から、屋根を設置する計画としています。

一方で、東側階段の付近には、再開発ビル(東街区)と連携したバリアフリー動線として、改札階と地上を結ぶエレベーターを設置する計画です。また、駅前広場や歩行者デッキは一体的で見通しの良い開放的な空間を形成するエリアとして位置付けており、景観や空間の広がりとのバランスも考慮しています。こうした点を総合的に検討した結果、東側階段については屋根を設置しない計画としています。

なお、東側階段の路面は、雨天時の安全性に配慮し、滑りにくく排水性に優れた仕上げを採用する予定です。



デッキイメージ



デッキ東側階段イメージ

## 駅前広場の将来計画について

### Q7 商店街から駅まで遠回りになったが、いつまでこの状態が続くのか

駅前の歩行者デッキ(歩道橋)は、西側、東側の順で、段階的に整備していきます。  
駅への動線を常に確保しながら工事を進めるために、今後も下図のとおり、歩行者の動線の切替えを予定しています。

現在は、既存駅ビルの解体工事・西側デッキ工事を進めており、令和9年末ごろに、商店街側からの階段及びエレベーターが設置され、商店街側からの動線に戻る予定です。

その後、現在使用している東側の階段・エレベーターを撤去し、東側デッキ工事を進めます。  
最終的なデッキの完成は、令和10年度以降の予定です。

令和9年末ごろまで、東側の階段に大きくう回していただくことになり、ご負担をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。  
なお、商店街から駅へと向かう際には、新たに整備した歩行者用通路をご利用ください。  
また、周辺の私道を通行されるときは、近隣の方へのご配慮をお願いいたします。



新たに整備した歩行者用通路

## 駅前広場の将来計画について

### Q8 広場の暑さ対策はどのように考えているか

ヒートアイランド対策やゲリラ豪雨対策を見据え、新たに整備する駅前広場では、緑化率が3割を超えるような緑豊かな空間整備を計画しています。

樹木による緑の影が生まれるよう、駅前にあるクスノキをそのまま保存し、再開発エリアに生えていたエノキを駅前に移植したうえで、さらに高木を植えるなどの植栽を計画しています。

一部の樹木の足元にはベンチを配置することで、木陰で憩える場所とするなど、暑い日でも利用しやすい空間づくりを進めます。



樹木の足元にベンチを配置した商店街側の広場イメージ

## 駅前広場の将来計画について

### Q9 まちの顔となる駅前空間を将来的にきれいに保てるのか

新しい上板橋南口駅前では、板橋区だけでなく、再開発事業の地権者の皆さまや民間企業、区民の皆さまを含めて、多くの方とまちの将来を共有しながら、みんなで維持管理していく広場をめざしています。

現在、将来の駅前広場のために地域活動を支援する有志団体「かみいたグリーンファンド」が主体となり、板橋区とともに、広場を緑と交流があふれる場所としていくために活動しています。

活動のひとつである「そだててつくろう かみいたねプロジェクト」では、地域住民や協力者の方へファンド型で土と種を配付し、各家庭で育て、上板橋駅南口駅前へ持ち寄り、植え替える取組を行っています。

今後も、みどりの育成や清掃活動を通して、まちに関わる機会を持てるような取組を継続的に実施していきます。

整備完了後も、まちの顔となる駅前空間の価値が保たれ、培われてきたまちへの愛着が、次の世代へとつながっていくよう、公民連携による維持管理の仕組みづくりを検討していきます。



かみいたねプロジェクトの活動例

かみいたグリーンファンドのXのページ

[https://x.com/Kamiita\\_GF](https://x.com/Kamiita_GF)